

蠅男の逆襲 (1959)

THE RETURN OF THE FLY

メディア 映画

ジャンル SF ホラー

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 78分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

「蠅男の恐怖」のヒットによって製作された続編。前作で蠅男になってしまった科学者アンドレの息子フィリップは、母の死後、父の研究を続行しようと決意。伯父フランソワと親友の協力を得て別荘の地下室で物質転送機の開発を行う。だが実験が大詰めを迎えた時、親友が研究の横取りを企んでいる事が発覚。格闘の末、気絶させられたフィリップは転送機に入れられてしまうが、そこには一匹の蠅が……。前作で完結しているモンスターの物語を、どうやってもう一度展開させるのが一番の興味だが、脚本・監督のバーズはなかなか巧みな処理を行っている。裏切った親友によって人為的に蠅男にさせられる、というのがそれだ。しかも、フィリップが父の最期を知って以来、蠅恐怖症になっている設定などもなかなか効果的で、これで、転送機の中で気がついたフィリップが蠅を見つけた時の恐怖などがもっと出れば良かったのだが。前作から引き続き登場のV・プライスも、悲劇を繰り返してはならないという思いで行動しており、そういった意味では、正当な続編であり、受け継ぐべきところは受け継いでいるが、まったく方向性の異なるアプローチを施して成功した作品と言えるだろう（予算不足なのか白黒作品になっているにせよ）。この後、'65年にシリーズ第3作「蠅男の呪い」が作られる。

【クレジット】

監督	エドワード・L・バーズ	Edward L. Bernds	
製作	バーナード・グラッサー	Bernard Glasser	
原作	ジョルジュ・ランジュラン	George Langelaan	
脚本	エドワード・L・バーズ	Edward L. Bernds	
撮影	ブライドン・ベイカー	Brydon Baker	
音楽	ポール・ソーテル	Paul Sawtell	
	バート・シェフター	Bert Shefter	
出演	ヴィンセント・プライス	Vincent Price	フランソワ
	ブレット・ハルゼイ	Brett Halsey	フィリップ
	デヴィッド・フランカム	David Frankham	
	ジョン・サットン	John Sutton	
	ダン・セイモア	Dan Seymour	
	ダニエル・デ・メツ	Danielle De Metz	